



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 石油資源開発株式会社  
 コード番号 1662 URL <https://www.japex.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 昌宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長 (氏名) 長谷川 茂吉 TEL 03-6268-7110  
 配当支払開始予定日 2019年12月16日  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	162,346	41.0	7,730	—	13,636	954.4	12,069	395.9
2019年3月期第2四半期	115,136	2.5	△1,183	—	1,293	△85.4	2,433	△68.6

（注）包括利益 2020年3月期第2四半期 4,625百万円（△36.1%） 2019年3月期第2四半期 7,235百万円（△49.9%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	211.19	—
2019年3月期第2四半期	42.59	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	651,501	452,551	64.4
2019年3月期	655,288	450,156	63.6

（参考）自己資本 2020年3月期第2四半期 419,546百万円 2019年3月期 416,488百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	318,351	18.8	11,735	407.3	21,898	74.9	18,820	27.4	329.29

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	57,154,776株	2019年3月期	57,154,776株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	2,265株	2019年3月期	2,207株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	57,152,562株	2019年3月期2Q	57,152,637株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
3. 補足情報	8
生産・販売の状況	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における売上高は162,346百万円と前年同期に比べ47,210百万円の増収（+41.0%）となり、売上総利益は23,101百万円と前年同期に比べ8,975百万円の増益（+63.5%）となりました。前年同期に比べ増収増益となった主な要因は、売上高は、原油の販売数量の増加に加え、JACOSハンギングストーン鉱区における希釈ピチューメンの販売数量が増加したことなどにより増収となりました。売上総利益は、主にオイルサンド事業における重軽格差（カナダ産重質油と軽質油であるWTIとの価格差）の縮小による希釈ピチューメンの販売収支の改善などにより増益となりました。

探鉱費は、358百万円と前年同期に比べ4百万円減少（△1.4%）し、販売費及び一般管理費は、15,013百万円と前年同期に比べ67百万円増加（+0.5%）した結果、営業損益は、前年同期に比べ8,913百万円増益の7,730百万円の営業利益（前年同期は1,183百万円の営業損失）となりました。

経常利益は、主に持分法による投資利益が減少したものの、為替差損が為替差益に転じたことなどにより、前年同期に比べ12,342百万円増益の13,636百万円となりました。

税金等調整前四半期純利益は、前年同期に比べ11,704百万円増益の13,617百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に比べ9,636百万円増益の12,069百万円となりました。

なお、売上高の内訳は次のとおりであります。

## (イ) 原油・天然ガス

原油・天然ガス（液化天然ガス（LNG）、希釈ピチューメンを含む）の売上高は、主に原油及び希釈ピチューメンの販売数量が増加したことに伴い、131,969百万円と前年同期に比べ40,254百万円の増収（+43.9%）となりました。

## (ロ) 請負

請負（掘さく工事及び地質調査の受注等）の売上高は、10,474百万円と前年同期に比べ7,648百万円の増収（+270.6%）となりました。

## (ハ) その他

液化石油ガス（LPG）・重油等の石油製品等の販売、天然ガス等の受託輸送及びその他業務受託等の売上高は、19,902百万円と前年同期に比べ692百万円の減収（△3.4%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3,786百万円減少し、651,501百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ22,755百万円の増加となりました。これは、現金及び預金並びに受取手形及び売掛金が、それぞれ増加したことなどによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ26,542百万円の減少となりました。これは、投資有価証券において時価が下落したこと、投資その他の資産のその他に含めている生産物回収勘定において回収が進んだことに伴い、それぞれ減少したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ6,181百万円減少し、198,950百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,971百万円の増加となりました。これは、流動負債のその他に含めている未払消費税等が減少した一方で、支払手形及び買掛金が増加したことなどによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ8,152百万円の減少となりました。これは、繰延税金負債において前述の投資有価証券の時価が下落したこと、長期借入金において為替の影響や返済期限が1年以内の借入金を流動負債へ振替えたことに伴い、それぞれ減少したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2,394百万円増加し、452,551百万円となりました。

これは、その他有価証券評価差額金は減少したものの、利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年8月9日に公表いたしました予想から修正しております。

詳しくは、本日2019年11月8日公表の「業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	117,468	133,697
受取手形及び売掛金	20,825	28,311
有価証券	2,330	2,400
商品及び製品	4,559	5,082
仕掛品	362	297
原材料及び貯蔵品	7,589	10,715
その他	12,985	8,371
貸倒引当金	△33	△33
流動資産合計	166,087	188,843
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	185,198	176,227
その他（純額）	123,915	121,249
有形固定資産合計	309,114	297,476
無形固定資産		
その他	7,399	6,916
無形固定資産合計	7,399	6,916
投資その他の資産		
投資有価証券	137,794	135,369
その他	35,995	23,825
貸倒引当金	△46	△44
海外投資等損失引当金	△1,057	△886
投資その他の資産合計	172,686	158,264
固定資産合計	489,200	462,657
資産合計	655,288	651,501

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,666	12,170
引当金	400	512
その他	24,311	21,666
流動負債合計	32,378	34,349
固定負債		
長期借入金	127,715	120,714
繰延税金負債	22,330	21,182
退職給付に係る負債	3,452	3,440
引当金	1,236	1,013
資産除去債務	15,335	15,284
その他	2,681	2,964
固定負債合計	172,752	164,600
負債合計	205,131	198,950
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,288	14,288
資本剰余金	157	157
利益剰余金	331,306	341,661
自己株式	△10	△11
株主資本合計	345,741	356,096
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66,296	61,903
繰延ヘッジ損益	△2	9
為替換算調整勘定	3,338	525
退職給付に係る調整累計額	1,114	1,010
その他の包括利益累計額合計	70,747	63,449
非支配株主持分	33,668	33,005
純資産合計	450,156	452,551
負債純資産合計	655,288	651,501

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	115,136	162,346
売上原価	101,009	139,244
売上総利益	14,126	23,101
探鉱費	362	358
販売費及び一般管理費	14,946	15,013
営業利益又は営業損失(△)	△1,183	7,730
営業外収益		
受取利息	745	584
受取配当金	1,032	1,658
持分法による投資利益	5,489	4,405
その他	559	1,934
営業外収益合計	7,827	8,584
営業外費用		
支払利息	1,825	2,433
為替差損	2,940	—
その他	584	244
営業外費用合計	5,351	2,677
経常利益	1,293	13,636
特別利益		
固定資産売却益	715	—
特別利益合計	715	—
特別損失		
固定資産売却損	60	3
固定資産除却損	35	15
特別損失合計	96	19
税金等調整前四半期純利益	1,912	13,617
法人税等	394	1,512
四半期純利益	1,518	12,104
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△915	34
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,433	12,069

（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自2018年4月1日 至2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自2019年4月1日 至2019年9月30日）
四半期純利益	1,518	12,104
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,006	△4,394
繰延ヘッジ損益	45	12
為替換算調整勘定	△2,287	△2,827
退職給付に係る調整額	△14	△103
持分法適用会社に対する持分相当額	△31	△164
その他の包括利益合計	5,717	△7,478
四半期包括利益	7,235	4,625
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,117	4,772
非支配株主に係る四半期包括利益	△881	△146



（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（原価差異の繰延処理）

操業度の時期的な変動により発生した原価差異は、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べております。

（税金費用の計算）

税金費用については、当社及び一部の連結子会社は当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

## 3. 補足情報

## 生産・販売の状況

## ① 生産実績

		前第2四半期 連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	(参考) 前連結会計年度 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)
原油・天然 ガス	原油 (kl)	504,987 (376,001)	547,580 (397,084)	1,157,037 (892,535)
	天然ガス (千m <sup>3</sup> )	585,037 (262,561)	530,853 (214,469)	1,170,457 (488,436)
	液化天然ガス (t)	4,808	3,891	5,600
	ビチューメン (kl)	338,534 (338,534)	561,946 (561,946)	812,720 (812,720)

(注) 1. 原油、天然ガス及びビチューメンの（ ）は海外での生産であり、内数です。

2. 天然ガスの生産量の一部は、液化天然ガスの原料として使用しております。

3. ビチューメンとはオイルサンド層から採取される超重質油です。

## ② 販売実績

		前第2四半期 連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)		(参考) 前連結会計年度 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)	
		数量	金額 (百万円)	数量	金額 (百万円)	数量	金額 (百万円)
原油・天然 ガス	原油 (kl)	782,391	41,048	1,469,861	68,902	1,888,653	94,579
	天然ガス (千m <sup>3</sup> )	813,097	27,835	746,637	29,362	1,731,141	67,820
	液化天然ガス (t)	145,796	9,574	149,179	10,319	322,331	22,913
	希釈ビチューメン (kl)	496,568	13,257	838,297	23,385	1,176,091	30,116
小計			91,715		131,969		215,429
請負			2,826		10,474		7,342
その他	石油製品・商品		18,170		17,168		39,820
	その他		2,424		2,733		5,387
	小計		20,594		19,902		45,207
合計			115,136		162,346		267,980

(注) 1. 「石油製品・商品」には、液化石油ガス (LPG)、重油、軽油、灯油等が、「その他」には天然ガス・石油製品の受託輸送及びその他業務受託等が含まれております。

2. 希釈ビチューメンとはパイプライン輸送のために超軽質油で希釈したビチューメンです。

3. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。